



次世代エネルギーを活用したまちづくり

Vol.3

3回目の今回は、次世代エネルギービジョンの具体的な事業として、今月から甌島で実施している「甌島EV(電気自動車)レンタカー導入実証事業」と「超小型モビリティ導入実証事業」について、皆さんにご紹介します。

甌島のエコアイランド化

市では、甌島の豊かな自然環境や水産資源などに着目して、エコ体験観光などを推進します。また、既存エネルギーと調和した再生可能エネルギーの導入など、環境に最大限配慮したまちづくりの実現を目指します。



事業者とのカーシェアリング

市とレンタカー事業者が試行的にカーシェアリングを行い、利用者から走行距離、燃費、CO2排出量などのデータの収集やアンケートを実施します。

充電インフラを整備

電気自動車の普及のために、市が里支所と長浜港付近に普通充電器を1基ずつ設置しました。



導入車両(超小型モビリティ)
[メーカー]=トヨタ車体(株)
[車名]=COMS(コムス)
[乗車定員]=1人
[最高速度]=時速60km
[充電時間]=約6時間で満充電(家庭用コンセント使用)
[満充電での走行可能距離]=50km(市街地走行での公表値)

普通の買物や通勤、ちょっとしたお出かけにぴったりサイズ。とってもエコ!!



水枝さん

地域の新たな交通手段

超小型モビリティは、高齢者や子育て層などの新たな地域の軽な移動の手段として活用されることが期待され、日常生活における活動・交流の活性化につながります。

これなら狭い道路でも安心だから、私たちも乗ってみたいね。



森三さん ウミさん

今月の用語集

※1 EV(電気自動車)
エンジンの代わりにモーターとバッテリーなどを備え、ガソリンを使わずに外部からバッテリーに充電された電気を使って走行する自動車です。

※2 超小型モビリティ
自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域を手軽に移動できる1人乗り程度の車両です。なお、運転するには「普通自動車運転免許」が必要です。

※3 カーシェアリング
特定の自動車を複数の者が共同で利用する仕組みです。車の効率的な利用を促すだけではなく、環境負荷を低減するなどの効果が報告されています。

次回は10月号に掲載します。

【問合せ先】=本庁新エネルギー対策課新エネルギー対策グループ ☎(23)5111(内線5521、5522)



市内各地から

ままの話題

朱色に色づいたホオズキが夏の訪れを告げます
(祁答院町)

平成25年7月13日撮影



犯罪・非行のない安全・安心な薩摩川内市に

7月1日(月)、薩摩保護区保護司会、川内・入来地域更生保護女性会、川内地区BBS(青年ボランティア団体)会員が、岩切秀雄市長に、「社会を明るくする運動」の法務大臣および県知事メッセージを伝達。より良い社会実現に向け、市との連携を深めました。



トサカノリ採り解禁 色鮮やかな甌島の海の幸

7月9日(火)、トサカノリ採り解禁を受け、漁師3人が西海岸の漁場に潜り、約1400kgを甌島漁協鹿島支所に水揚げしました。今年は、例年に比べて量も多く、きれいなトサカノリとのこと。鹿島地区コミュニティ協議会では、約300kgを加工し土産品などとして販売する予定です。



田植えの労をねぎらい さなぶり会開催

7月6日(土)、大馬越地区コミュニティセンターで「さなぶり会」が開催されました。当日は、参加者全員で作った料理をいただきながら、田植えの労をねぎらいました。また、国際交流員の周瓚さんを招き、中国の歴史や文化についても学び交流を深めました。
【写真提供】=同地区コミュニティ協議会



快挙!2チームがそろって全国大会へ

7月16日(火)、県大会を勝ち抜き、8月に行われる全国大会出場(福島・東京)を決めた大東ソフトボールスポーツ少年団と大東 Jr. バレーボールスポーツ少年団が上屋和夫教育長を表敬訪問しました。それぞれ県大会の報告を行い、全国大会への意気込みを述べました。



郷土を愛する心を育む 昔ながらの櫓漕ぎを体験

7月4日(木)、長浜小学校の1~4年生が、櫓で船を漕ぐ体験活動「和船遊び」を行いました。地域の指導者の助言や補助をもらい、みんなで力を合わせ、悪戦苦闘しながら、和船を少しずつ前へ進めることができました。郷土の美しい海での活動を満喫し、笑顔いっぱいの子どもたちでした。
【写真・記事提供】=同小学校西教頭先生